



地図の風3

猛烈もようやく治まつて、秋風を感じる宵、聞こえてくるまつりばやしに、子どもも大人もワクワクします。その仕掛け人、「第一光ヶ丘自治会長 飯田修一さん」にお話を伺いました。

◆自治会からまちおこしへ

52年前、大学生の時、自由が丘から移つて来ました。周りは茶畠ばかり、駅はすすきの原の中にあって、冬の夜などは氷点下5度にもなりましたね。家から駅までの往復だけの毎日で、定年年までには地元のことはほとんど関心でした。

当時、自治会活動は主に女性中心で、男性は少なかつたようですが、都市ガスへの切り替え時は大変苦労されたそうです。10年前のブロック委員から継続してのちに会長を引き受けることになりました。

500世帯の会員も一時350戸まで減りました。最近は少し増えましたが、なぜ自治会を抜けるのでしょうか?年を取つてブロ

今 あつい！第一光ヶ丘 公園・自治会…そして夏祭り！

高齢者のふれあいの場であるオープンカフェは、会員の多くの協力もあって、楽しいですね。夏祭りも多くの会員のパワーで、八小から神輿を借り、山車、盆踊り、仕掛け花火や模擬店で盛り上ります。山車は補助金で作りました。小さな子でも参

12年前に、何か楽しいことをやつて会員の親睦を深めたいと、光ヶ丘公園で祭りをすることになったそうです。当時の公園は遊んでいた子どもの姿が少なかつたので、この地域がふるさとと思ってもらえるような祭りを目指しました。夏休みラジオ体操や歩こう会なども定着し、最近は子どもの姿も多く見かけます。また、周辺地域との繋がりも大事にしています。

査などに参加して、他の地域の人とも人間関係ができるようになります。

パトロールや  
防災訓練、歩こ  
う会。そして南  
街・桜が丘地域  
防災協議会や、  
地域の放射線調



仕掛け花火

加できるようになると、若い人たちもやりがいを感じる手伝ってくれます。小学生のお母さん達も、子どもを通じて話し合いに参加することで、親同士が知り合いになり、「地域との繋がり

子ども、若い人、年配者の融合は、自治会の大きな柱となり、夏休み最後の光ヶ丘公園での祭りは地域一体となつて盛り上がりります。今年は祭りの費用の一部を「青少年育成とオリンピック」で都の補助を受けます。これからも地域おこしのイベントのために、申請は大変ですが、都などの助成を受け、事業や地域を盛り上げ、楽しさを倍増させたいですね。

◆まちづくりの夢  
東大和は都内からちよつと遠い  
けれど、自然が豊かで住みやすいい  
所です。駅から多摩湖まで遊歩道  
を作つて欲しい。その周辺道路も  
整備して沿道におしゃれな店など  
があるとよいですね。

近頃は人間関係が希薄だといわれて久しいです。が、地元の小学校や地域に住む人々との連携、子ども達への熱い愛がひしひしと伝わってくると伝わってくる。飯田さんのホツとなお話でし。た。



八年级